

在宅取組型（保育園）

| | |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校名等 | 池田町立温知保育園 |
| 実施日時 | 平成29年8月5日（土）～9日（水）の5日間 |
| 会場 | 各家庭 |
| 参加人数 | 全園児及び保護者 |
| 学習課題（分野） | おうちのひとと「ぎゅっ！」 |
| 運営者の願い | 本園では、毎年5回家庭教育学級を実施しているが、全員参加は難しく希望者のみが参加して活動を行ってきた。保護者全員が参加でき、かつ負担のない取り組みにしたいという思いから、本年度は在宅取組を取り入れ「ハグの日週間」を設けた。 |

学習の内容

<案内文より>

今年度家庭教育学級の活動として、全家庭に参加していただきたいという願いから在宅取組を計画させていただきました。

8月5日（土）～9日（水）の5日間を「ハグの日週間」と位置づけ、毎日1回はお家の方とお子様とでハグ（ぎゅっ）をし、親子や家族との絆を深めるきっかけにしていきたいと思っております。

『おうちのひとと「ぎゅっ！」』カードにハグをしたらシールを貼りましょう。

<ハグの日週間 おうちのひとと「ぎゅっ」の進め方>

- ①8月5日（土）～9日（水）の5日間、取り組む。
- ②家族（祖父母、親子、兄弟姉妹）と1日1回以上ハグをする。
- ③ハグをしたら、カードにシールを貼る。
- ④5日間終わったら、親子で感想を記入する。
- ⑤家庭教育学級便りで取り組み後の感想を知らせる。

<実践カードの親子の感想>

保護者

- ・子どもが喜んでくれるので毎日してあげたい。これからも続けたい。
- ・スキンシップが取れて、家族の絆が深まった。家族の絆を再確認できた。
- ・日頃、忙しくて「ぎゅっ」してあげられないので、良い期間だった。
- ・仕事の疲れが吹き飛んだ。癒された。幸せな気持ちになった。
- ・子どもが楽しみにしていた。その様子を見て嬉しくなった。
- ・スキンシップが親にとっても子どもにとっても大切だと感じた。
- ・「だっこ」と「ぎゅっ」は違う。言葉以上に伝わるものがあった。

園児

- ・うれしかった。（この感想が多数）
- ・楽しかった。
- ・「ぎゅっ」大好き。
- ・いい気持ちだった。幸せな気持ちだった。あたたかい気持ちになった。
- ・パパ、ママ大好き。
- ・これからもしてほしい。毎日してほしい。もっとやりたい。
- ・ありがとう

<取り組みを終えて>

初めての在宅取組となったが、取り組み後の感想から今回の取り組みが負担になったという意見は1件もなかった。ハグを通して、親も子も一緒に幸せな時間を過ごせたことが感想から伝わってくる。

取り組み後の家庭教育学級便りでは、「本年度の家庭教育学級のテーマにもなっている『親子の絆』が深まったのではないのでしょうか。」と結んだ。



<やる気アップ>

- ・カードに貼るシールは動物の親子が描かれているものを採用。
- ・実施日の数日前にカードとシールを園児に配付。シールを見た園児はかわいいシールに盛り上がり「ハグの日」が待ち遠しくなり、やる気アップ!
- ・人気ドラマで「ハグの日」が話題に。大人もやる気アップ!



<効果>

- ・ハグをすることで子どもが笑顔になり、その笑顔を見た親も笑顔になる。幸せな時間を共有することができた。
- ・照れくさそうにする子どもの姿もまた愛しく、心も体も大きくなった子どもの成長を実感することもできた。

ハグ効果絶大!

